

■第3回あきたスマートシティ協議会 議事録

日時	平成 23 年 8 月 2 日 (火) 15:00~17:00	
場所	秋田市議場棟	
参加者 (敬称略)	検討会 委員	NPO 法人科学協力学際センター：川添理事長（委員長） 秋田大学教育文化学部地域科学課程：西川准教授（副委員長） 秋田県立大学システム科学技術学部建築環境システム学科：板垣准教授 東北電力株式会社 秋田営業所：寒河江副所長 東部ガス株式会社 秋田支社：佐藤副支社長 秋田商工会議所：岩本専務理事 一般社団法人あきた地球環境会議：福岡事務局長 秋田県産業労働部資源エネルギー産業課：三浦課長（代理：田川主査） 秋田県生活環境部温暖化対策課：高橋課長（代理：池田班長） 日本アイ・ビー・エム株式会社：長田ビジネス・ソリューション・プロフェッショナル ジョンソントロールズ インク：三田村ディレクター（代理：歳弘シニア・マネージャー） アイ・エム・サービス株式会社：大山取締役統括部長 コクヨ株式会社 RDI センター：飯沼課長 秋田市環境部：佐藤部長 株式会社日本総合研究所：小長井 計 16 名（順不同、敬称略）
	事務局	秋田市環境部、株式会社日本総合研究所
配布資料	資料 1：あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会委員名簿 資料 2：情報統合管理基盤導入の近況報告 資料 3：地域 ESCO 事業について 資料 4：補助事業申請状況 資料 5：ワーキンググループ推進体制 報告 資料 6：環境リーダー・ビジョンワーキンググループ 活動報告 資料 7：新庁舎建設との連携について 資料 8：第 2 回あきたスマートシティ推進協議会議事録	

議題（１）情報統合管理基盤導入の近況報告について

事務局より資料の説明後討議を行った。主な議論は以下のとおり。

- ・ あきたスマートシティのコンセプトに基づいて、まずは 5 施設のエネルギー管理を行う。
- ・ 検証可能なシステム構築を行っており、環境部での計算では 10 年で投資が回収できる見通しである。

議題（２）地域 ESCO 事業について

事務局より資料の説明後討議を行った。主な議論は以下のとおり。

- ・ 現場サイドの要望と予算との関係から、導入は 25 年の初めに延期となった。
- ・ 関連部局へ予定の遅延を伝え、11 月までにリスケジュールを行う予定である。

議題（３）補助事業申請事業について

事務局より資料の説明後討議を行った。主な議論は以下のとおり。

- ・ 総務省の緑の分権は不採択であった。
- ・ 経産省のスマートコミュニティ構想普及支援事業に応募するので、協議会のメンバーにアドバイスを求めたい。

議題（４）ワーキンググループ推進体制報告について

事務局より資料の説明後討議を行った。主な議論は以下のとおり。

- ・ 推進体制は決まったので、この体制でリーダーを中心にテーマごとに進めていく。

議題（５）新庁舎建設との連携について

事務局より資料の説明後討議を行った。主な議論は以下のとおり。

- ・ 新庁舎の設計は日本設計が行うことになった。
- ・ 基本設計のステージ I が 11 月までなので、そこまでに協議会の意見を盛り込んでいく。

議題（６）その他連絡事項

- ・ 次回協議会は 11 月。開催日は追って調整する。

以上